

目標達成計画

作成日：平成24年4月10日

目標達成計画は、自己評価及び第三者評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	・気軽に足を運んで頂ける地域のボランティアとの交流や参加して頂ける行事の案内などを知らせる事で、グループホームと地域の繋がりを深めていけるのではないかと考える。	・2か月に一度の運営推進会議の場を有意義な場所とし、地区の行事やボランティア内容などの情報交換を行う。地域と施設お互いに情報発信に努める。地域の行事に参加をする。ボランティアの積極的な受け入れを行う。	・施設運営会議にて施設で行っている行事の案内をしたり、積極的に行事が決まっている際は、地区へ発信していく。施設周辺の散歩や買い物、地区の行事に参加をする。社会参加に繋がるように新規ボランティアさんを受け入れる。	6ヶ月
2	10	・施設運営会議の場で、全体で話し合いの場となり、報告会議ではなく、課題や目標を絞り、意見や話し合いの場となるようにする。	・目標や課題をしぼり、意見や話し合いの場となるよう、会議の進行を見直す。 ・月のお便りに運営会議があることを記載し、気軽に参加して頂くように文章を入れ、会議に参加して頂けるように促してみる。	・施設内に意見箱を設置し、家族様、訪問者の方より意見・要望を伺える機会、きっかけを作る。	6ヶ月
3	35	・緊急対応時(台風・地震その他自然災害)における地域住民及び、地区消防団との協力体制を作っていきたい。	地域の一員として、地域に根付き暮らしていけるようになる。グループホームの施設が孤立しないようにする。	・地域の方の協力を依頼し、防災訓練を定期的実施していく。 ・施設内においても、ミニ訓練、消防計画等確実に実践する。	6ヶ月
4	49	・日常生活の中の余暇の時間を何をして過ごして頂くか、また、グループホーム内だけの生活にとらわれず、入居者一人ひとりの生活歴を知り、日常生活の過ごし方を再度見つめ直す。	・入居者の生活歴や1日の過ごし方を見直し、認知症の予防や社会参加、活性化を図る。 ・外出支援を増やし、気軽に外に出掛けられる機会を作る。	・生活の継続として捉える外出。 ・気分転換の外出を増やす。入居者一人ひとりの要望を伺う。 ・行った事がない場所であったり、季節、希望に沿った企画を提案をし、入居者の方に充実した時間を過ごして頂く。	6ヶ月

5	2	<p>事業所と地域住民とまだグループホームに対する地域住民の認識が浸透していない。</p>	<p>・地域の方々に事業者を気軽に訪問して頂く機会を提案し、地域との繋がりを深め、地域の中でグループホームの認識が求められるよう取り組む。</p>	<p>施設から交流を図れるような行事を企画する。 地区の行事の情報共有や施設を知って頂く事を副時的な目的とした奉仕活動の提案を行う。</p>	<p>12ヶ月</p>
---	---	---	---	--	-------------

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。